

70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	番号 ばんごう	上の句 かみく	下の句 しもく	作者 さくしゃ
冬休み大山に行き雪が散る ふゆやすみだいせんにいきゆきがちる	冬の旅寒いがカイ口で温まる ふゆのたびさむいがかいこであつたまる	また一つ新たな歩み踏み出して またひとつあらたなあゆみふみだして	推しが増え良い一年になりました おしがふえよいいちねんになりました	目が合ひてそらしつつも嬉しければ めがあひてそらしつつもうれしければ	朝霧に見える人こそ愛し人 あさぎりに見えるひとこそいとしひと	空見上げ遠くにいる君思いけり そらみあげとおくにいるきみおもいけり	舞い散るは初恋といふげに儂く まいちるははつこいというげにはかなく	好きですと貴方に送る恋文を すきですとあなたにおくるこいぶみを	命ともおほに会いえし待ちつつぞ いのちともおほにあいえしまちつつぞ		あのはなのようになんじをおもえば あの花のようにに汝を思えば	受け取る君は照れた苺だ うけとるきみはてれたいちごだ	青木納言
そんな君はとても美しい そんなきみはとてもうつくしい	ダウンも手袋着ないとね だうんもてぶくろきないとね	しらないせかいしつてみないか しらなくつたわるはずだったのに	すとぷりおしのりるこである すとぷりおしのりるこである	己の心をえ隠さず おのれのこころをえかくさず	叶わなくても心は変わらむ かなわなくてもしんはかわらむ	私の心気付いてみても わたしのこころきづいてみても	げに美しい華だった げにうつくしい華だった	受け取る君は照れた苺だ うけとるきみはてれたいちごだ	あのはなのようになんじをおもえば あの花のようにに汝を思えば		舞桜	萌奈未 (もなみ)	
現代清少納言	スプラ #13690	calamari からまり	莉るこ	煌々星	瑠璃内侍	萌奈未 (もなみ)	舞桜	博麗の巫女	命ともおほに会いえし待ちつつぞ		舞桜	萌奈未 (もなみ)	